

報道発表資料
平成20年9月29日

平成20年度補正予算の概要

気 象 庁

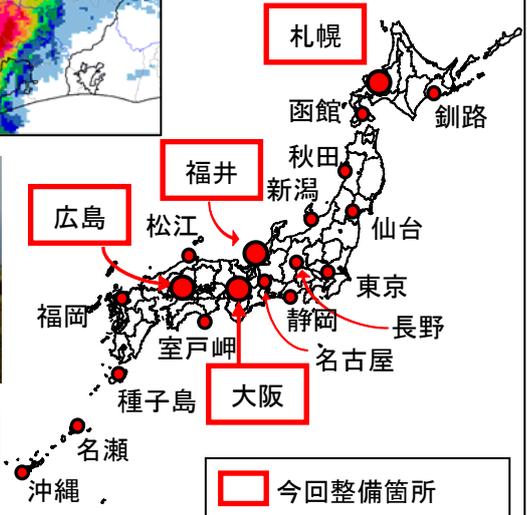
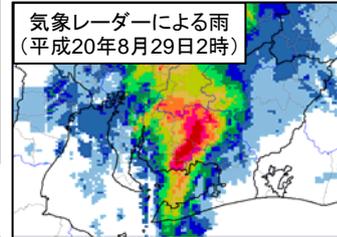
・ 本件に関する問い合わせ先
気象庁総務部経理管理官付
TEL 03-3212-8341 (内線 2169)

○ 気象ドップラーレーダーの整備

21億円

・地球温暖化等の影響により短時間強雨が頻発化、全国各地で**集中豪雨**や**局地的大雨**による被害が多発
(岡崎市、神戸市都賀川、豊島区雑司ヶ谷など)

愛知県岡崎市付近での集中豪雨



① 気象ドップラーレーダー整備の推進 (5箇所)

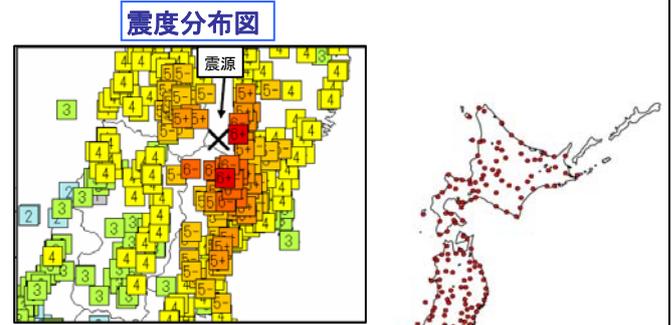
(参考) 気象レーダーの現状
 { ドップラーレーダー: 11箇所
 { 通常レーダー : 9箇所

② 観測頻度を2倍(5分間隔)に能力アップ(全国20箇所)

○ 震度観測体制の強化等

8億円

・本年6月に発生した「岩手・宮城内陸地震」のような大地震はいつどこで起こるか分からない
 ・**震度データ**は極めて**重要な情報**



① 整備後13年を経過した**計測震度計の処理部を更新**(東京、大阪管内220箇所)

< 年次計画 >

平成19年度整備: 札幌(47箇所)、仙台管内(60箇所)

平成20年度当初: 福岡(61箇所)、沖縄管内(9箇所)

平成20年度補正: 東京(132箇所)、大阪管内(88箇所)

② 計測震度計の精度を検定するための**全国唯一の検定装置の更新**

